

所長だより第62号 令和元年 6月18日

希望の船

We love BIWAKO

「みずうみに学んで世界の明日をひらく人」

滋賀県立びわ湖フローティングスクール
〒520-0047 大津市浜大津5丁目1番7号
<https://uminoko.jp/>

令和の航海も順調に進んでいます 【所長 小野澤 稔香】



平成31年4月24日(水)、今年度の児童学習航海がスタートしました。1回目の航海には、草津市立笠縫小学校と栗東市立治田小学校の児童151名が乗船し、長浜へ向けて出港していきました。

出港に先立って、草津市の川那邊教育長様、栗東市の福原教育長様にご臨席いただき「出航式」が行われました。滋賀県教育委員会の福永教育長から、「進んで琵琶湖を守る行動をすることや、物を大切に使うこと、友達と協力することなど、55

万人の先輩たちが守り続けてきた思いをしっかりと受け継いでください。」とお話があると、児童の皆さんは、力強く頷いていました。

フローティングスクール開校から37年目となる今年度は、児童学習航海102航海(他府県児童との「琵琶湖に学ぶ小学生交流航海」5航海を含む)を実施します。航海当日乗船できなかった子どもたちを対象とした「湖の子」体験航海も計画しています。また、夏休みには、一般の皆様にも船内を見学していただく「うみのこ見学会」を実施します。5年生児童以外が「うみのこ」に乗船できる年に一度だけの機会です。日程等詳しいご案内は、このホームページや広報誌「教育しが」でお知らせしますので、お誘い合わせの上、どうぞご参加ください。

さて、令和を迎えた今年度の航海は、すでに20回を終え、順調に航海を続けています。びわ湖フローティングスクールでは、平成29年度より5年計画で「つながりが生まれるフローティングスクールの創造」を研究テーマとして、新船での新しい学習のあり方を継続的に研究しています。今年度は、「児童と人のつながり」を主な視点に置き、船内での交流や、県内の関係機関や地域の人材との連携のあり方等について乗船校の先生方にもご協力いただき研究を進めてまいります。

5月15日～16日の第6回航海(近江八幡市立北里小学校・日野町立日野小学校)では、中心教材として「ヨシ」を取り扱い、ヨシの概要や役割を学んだり、ヨシ紙の端材を活用して紙すきを体験したりしました。さらには、ヨシ紙にヨシペンで絵や手紙を書くことにも挑戦しました。子どもたちは、「ヨシ」について学び体験することを通して、ヨシの植栽活動に取り組む人々、ヨシ帯を再生するためにヨシ刈りやヨシ焼きをする人々、ヨシ紙やヨシペン・ヨシ笛などヨシを活用する人々といった、ヨシと関わる人々の姿にも出会うことができました。

今後も、外部講師の方を招いてびわ湖学習に深みを持たせたり、琵琶湖博物館との連携で有識者の深い知識と出会わせたりするなど、様々な切り口で、新しい学習を模索し、新しい学習プログラムとして定着させたいと考えています。

